

第21回農作物病虫害防除フォーラム
～今後の土壌病虫害対策を考える～
開催要領

1 開催趣旨

土壌病虫害は、土壌中に長期間生存し、主に植物の根や地下茎などに寄生することにより、その植物の成長を阻害して、葉や株全体の萎れ、枯死などの被害を発生させます。

農林水産省では、土壌病虫害による農作物の被害を防止するため、本年8月に北海道の一部地域で国内で初めて発生が確認されたジャガイモシロシストセンチュウの防除技術の開発など緊急的な試験研究のほか、キュウリやショウガなど主要農作物に寄生して防除が困難な病虫害に対する防除体系の確立などの技術開発に取り組んでいます。

土壌病虫害による農作物被害対策は、主に臭化メチル消毒が従来から広く利用されてきましたが、オゾン層保護の観点から国内での使用が全廃された平成24年末以降、代替農薬の登録や防除技術の開発・普及が進められており、土壌改良による病虫害に強い環境作りや土壌診断に基づく適切な防除など、総合的病虫害防除・雑草管理(IPM)の考え方にに基づき、過度に農薬に依存しない総合的な防除対策を講ずることが重要です。

農林水産省では、平成7年から毎年1回ずつ、そのときどきの病虫害防除に関するテーマを設定し、試験研究の成果、先進的な取組事例、生産現場における諸課題などを紹介し、意見交換を行う「農作物病虫害防除フォーラム」を開催しています。

本年のテーマは、「土壌病虫害の防除対策」とし、近年開発された先進的な防除技術や産地での取組状況を紹介し、今後の土壌病虫害対策について意見交換します。

2 開催日時

平成27年12月9日(水) 13:30～17:30

3 開催会場

農林水産省講堂(本館7階)

4 参集範囲

都道府県、市町村、試験研究機関、メーカー、団体、生産者、病虫害防除に興味がある方等

5 講演議題・講演者

座長 (国研) 農研機構 中央農業総合研究センター 上席研究員 津田 新哉

(1) 講演

- ① 土壌病虫害対策の現状と展望
(国研) 農研機構 中央農業総合研究センター 上席研究員 津田 新哉
- ② 分子生物学的手法を用いたセンチュウ密度と被害程度の予察
国立大学法人東京農工大学大学院農学研究院 教授 豊田 剛己
- ③ 次世代型土壌病害管理ーヘンソディムの概要と研究・普及の現状と課題ー
(国研) 農業環境技術研究所 研究専門員 對馬 誠也
- ④ 転炉スラグを用いた土壌pH矯正による土壌病害の被害軽減技術
(国研) 農研機構 東北農業研究センター 上席研究員 門田 育生
- ⑤ ナス半身萎凋病を抑制する輪作体系の実証
群馬県農業技術センター 独立研究員 池田 健太郎
- ⑥ 土壌還元消毒の消毒メカニズムと実践事例
(公財) 園芸植物育種研究所 研究員 門馬 法明

(2) 総合討論

6 その他(出席申込み・お問い合わせ先)

出席を希望される方は、12月2日(水)までに別添の申込書により、以下の事務局へFAXにてお申込みください。なお、応募者多数の場合は出席希望の多い機関に対して出席者人数の調整をお願いするとともに、さらに必要な場合には、事務局にて厳正に抽選を行います。この結果、御出席をお断りする方に対して、12月4日(金)までに、その旨を電話又はFAXで御連絡いたします。

【お問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局植物防疫課防除班(中西、藤井)

電話番号: 03-3502-8111(内線4562)、FAX番号: 03-3502-3386

第21回農作物病虫害防除フォーラム
～今後の土壌病虫害対策を考える～
参加申込書

12月2日（水）

期限

農林水産省消費・安全局植物防疫課防除班（中西、藤井）宛て
FAX 03-3502-3386

所属機関名	氏 名	備 考
例：農林水産省消費・安全局 植物防疫課	農林 太郎	

申込代表者：
所 属：
氏 名：
T E L：
F A X：

※ 御連絡いただいた個人情報は、本フォーラムの参加登録以外には使用いたしません。